

春季企画展

お米づくり、 はじめました。

— 静岡市の弥生時代 —

2020年
令和2年

3月20日 (金)



6月14日 (日)



①



②

静岡市立登呂博物館 2階 特別・企画展示室

開館時間 | 9:00 - 16:30

休館日 | 月曜日・祝日の翌日 (3/21, 5/4~5/6 は開館)

観覧料 | 一般 300円 高校・大学生 200円 小中学生 50円



〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂 5-10-5

Tel.054-285-0476 Fax.054-287-1466

<https://www.shizuoka-toromuseum.jp/>



参加体験ミュージアム!

静岡市立登呂博物館

Shizuoka City Toro Museum

①四本歯又鎌 (登呂遺跡) ②台付甕形土器 (登呂遺跡)

静岡市の歴史を紹介する「静岡市の歴史」シリーズ第2弾です。日本人の主食として名高い「お米」。お米を作る稲作が大陸から日本各地へ広まったのは、弥生時代でした。静岡もその例外ではありません。静岡の弥生時代の遺跡には、お米づくりが行われた痕跡が多く残っています。

では、実際にどのような道具で耕し、収穫し、調理していたのでしょうか。この展示では、静岡市内の稲作跡が発見されている遺跡の出土遺物を中心に、お米づくりが広まった頃の人々の生活の様子を紹介します。教科書で歴史を学び始める小学生から家族で楽しめる企画展です。



関連事業①

講演会 弥生時代のお米づくりの調べかた

稲作の痕跡と年代を特定する最新の調査技術をわかりやすく解説します。

講師：松田 隆二

(株式会社古環境研究所 代表取締役社長)

日時：令和2年5月24日(日) 13:30～15:00

場所：登呂博物館 1階登呂交流ホール

料金：100円

定員：60人(要予約、先着順)

申込：4/24(金) 8:00から静岡市コールセンターにて受付開始 (TEL 054-200-4894)

関連事業②

種もみ・バケツ稲マニュアル プレゼント ～お家でバケツ稲はいかが？～

登呂博物館2階常設展示・企画展示を観覧した方に、バケツ稲の材料となる赤米の種もみと育て方のマニュアルをプレゼントします！

期間：令和2年3月20日(金祝)～

6月14日(日)のうち、土日・祝日

場所：登呂博物館2階 常設展示室前

対象：博物館2階常設展示・企画展示をご覧になった方

料金：無料

申込：不要

関連事業③

バケツ稲収穫量コンテスト ～お米はどれだけ育ったかな？～

企画展開催中に配った種もみで育てたバケツ稲。どれだけのお米が実ったか、結果発表会を実施します！

日程：令和2年11月1日(日)

場所：登呂博物館1階 登呂交流ホール

対象：春季企画展で種もみをもらい、バケツ稲を育てた方

料金：無料

申込：10月1日(木) 9:00から登呂博物館にてエントリー受付開始 (TEL 054-285-0476)

展示解説

日時 令和2年3月20日(金祝), 4月12日(日),
5月2日(土) 6月14日(日)
各日 11:00～、14:00～

場所 登呂博物館2階 特別・企画展示室

費用 無料(要観覧料)

アクセス



車 東名静岡ICから約10分
東名日本平久能山スマートICから約10分
有料駐車場有(約50台)

バス JR静岡駅南口バスターミナル・22番乗り場より「登呂遺跡」行 終点下車(所要時間約10分)



参加体験ミュージアム！
静岡市立登呂博物館
Shizuoka City Toro Museum



〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂5-10-5
Tel.054-285-0476 Fax.054-287-1466
<https://www.shizuoka-toromuseum.jp/>